

～「農」と「福祉」がつながって、地域を元気に！～

「ノウフク新春大感謝市」の開催について

※同時開催！-「[ノウフク]とうがらし生産お披露目会」-

平成30年1月16日
京都府健康福祉部障害者支援課
075-414-4596

京都府では、農福連携事業の一環として、全国の福祉事業所がつくった地域の農産物や加工品を広く府民に紹介をして購入いただくため、イオンモール京都桂川店1F月の広場にて、ノウフク・マルシェ「ノウフク新春大感謝市」を開催します。

当日は、地域の障害者が収穫した野菜や果物、オリジナル加工品等の販売、商品コンテストなどの各種イベントの実施を通して、京都式農福連携事業の取組をご紹介します。

多くの方にご来場いただけるよう事前の周知と当日のご取材をよろしくお願ひします。

●「ノウフク新春大感謝市」の概要

- (1) 日時 平成30年1月20日(土) 10時～19時
21日(日) 10時～17時
※20日(土) 11時30分～12時00分：オープニング式典を予定
- (2) 出席 やまだけいじ 山田啓二京都府知事
すずきえいけい 鈴木英敬三重県知事(農福連携全国都道府県ネットワーク会長)
さかきばらのりとし 榊原典俊全国農福連携推進協議会幹事 他
- (3) 場所 イオンモール京都桂川 1F「月の広場」
(京都市南区久世高田町376-1)
- (4) 内容 【ノウフク新春大感謝市】
 - ・福祉事業所にて製造された農産物及び農産加工品等の販売
※事業所等の取組内容の発信(京都府内・他府県より各10事業所程度出店予定)
 - ・啓発イベント(ミニステージでの映像啓発・豚汁炊出し 他)【[ノウフク]とうがらし生産お披露目会】
 - ・福祉事業所によるとうがらし生産活動内容の発信
- (5) 主催 京都府
- (6) 共催 農福連携全国都道府県ネットワーク
- (7) 後援 厚生労働省、農林水産省近畿農政局、
全国農福連携推進協議会、一般社団法人日本基金
- (8) 協力 イオンリテール株式会社、イオンモール株式会社



「ノウフク新春大感謝市」
[ノウフク]とうがらし生産お披露目会

日 時:1 月 20 日(土)11:30~12:00 ※予定

場 所:イオンモール京都桂川 月の広場

■1 月 20 日(土)

式典

- 11:30~ 式典開幕
- 11:30~11:35 京都府知事 式辞
- 11:35~11:40 三重県知事 式辞
- 11:40~11:45 全国農福連携推進協議会 幹事挨拶
- 11:45~11:50 イオンリテール株式会社 近畿・北陸カンパニー支社長挨拶

◎とうがらし生産取組

- 11:50~11:53 甘利香辛株式会社社長 挨拶
- 11:53~11:58 とうがらし生産取組 発表

11:58~12:00 フォトセッション

終了

~13:00 豚汁炊出し

Obrigado

ありがとう

Thank you

شكر 謝



禮

مشكروم

고맙습니다

Grazie

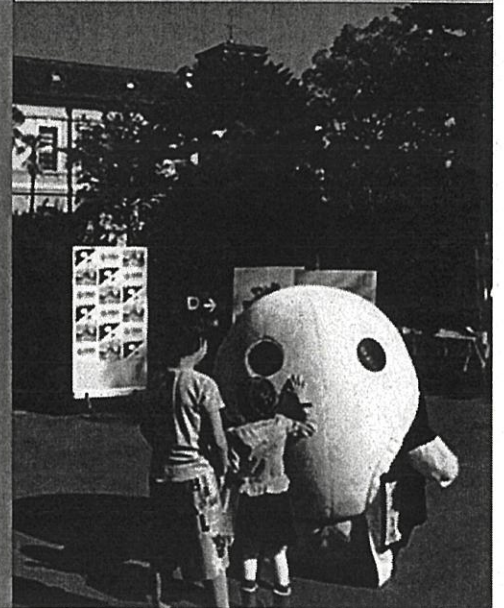
Danke

GRACIAS

ขอบคุณ ครับ

Merci

恩 谢谢



ノウフク新春大感謝市

平成30年1月20日(土)・21日(日)

10:00~19:00

※21日は17:00まで

イオンモール京都桂川 1F「月の広場」

主催：京都府

共催：農福連携全国都道府県ネットワーク

後援：厚生労働省、農林水産省近畿農政局、

全国農福連携推進協議会、一般社団法人日本基金

協力：イオンリテール株式会社、イオンモール株式会社



近畿ブロック農福連携 シンポジウム

～はじめる つづける 農福連携～

主催 農林水産省 近畿農政局
京都大学大学院農学研究科「寄附講座「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論」

後援 京都府・全国農福連携推進協議会

参加費 無料

日時 平成30年1月24日(水) 13:30～17:30

(受付 13:00)

会場 キャンパスプラザ京都第3講義室(4F)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939 ※公共交通機関をご利用願います。
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

目的 「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)において、農福連携の推進が位置づけられるなど、障がい者の就労訓練や雇用の場として農業分野に注目が集まっています。

これを受けて、近畿地域において農福連携の取組が、今後より一層、自主的・自立的に展開され、普及啓発、人材育成及び地域活性化の推進等に資することを目的に農福連携シンポジウムを開催します。

内容 1. 基調講演 「農福連携の情勢と全国動向～事業・経営のあり方について～」
全国農福連携推進協議会会長(JA共済総合研究所主任研究員) 濱田 健司 氏

2. 施策等の紹介 農林水産省・厚生労働省・京都府

3. パネルディスカッション 「経営の持続には何が大切なのか?～実践報告から～」
コーディネーター 京都大学大学院農学研究科 坂本清彦特定准教授
川崎訓昭特定助教

はまだけんじ
濱田 健司 氏

東京農業大学大学院修了。現在、JA共済総合研究所主任研究員/全国農福連携推進協議会会長/農林水産省農林水産政策研究所客員研究員/「農」の機能発揮支援アドバイザー。障がい者の就農に関する調査研究とそれを広めるための意識啓発、助言、講演などの活動を行う。人間と自然の多様性、そして「農」の福祉力や自然農を含めた農福連携に注目し、地域や人間関係まで包括した共生・共創の「農生業」を提唱している。

【研究分野】

- ・農業分野における障がい者就労、農と福祉に係る研究
- ・介護の運営、経営等に係る研究

【単著】

- ・「農の福祉力で地域が輝く 農福+α連携の新展開」
- ・「農福連携の「里マチ」づくり」

パネリスト

㈱いずみエコロジーファーム(大阪府和泉市) 神崎裕也社長

- ・平成22年設立。2年後、就労継続支援A型事業所「ハートランド事業部」を設置。
- ・ベビーリーフ、トマト、小松菜等のハウス栽培が中心。フィールド養液栽培のベビーリーフは無農薬で、主に生協の宅配で販売。
- ・認定農業者。

植村牧場㈱(奈良県奈良市) 黒瀬礼子社長

- ・明治16年、初代が牛の飼育を開始し、昭和2年、二代目が植村牧場を興す。36年前、障がい者の雇用をスタート。
- ・現黒瀬社長は同志社女子大卒業後、建設会社勤務を経て、就農。平成9年に社長に就任。
- ・牧場の隣で、レストランや直売所を開設。牛乳、アイスクリーム、お菓子などの加工・販売。
- ・第1回「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選出。

申込

提出先アドレス(nousonkeikaku_kinki@kinki.maff.go.jp) 又はFAX

申込書 <http://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/171222.html>

申込期限1月15日(月)

お問い合わせ先：近畿農政局農村振興部農村計画課 (担当：家本・谷本) TEL 075-414-9051

FAX 075-451-3965

ノウフク

農林水産省

農業と福祉がつながって、日本を元気に!

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

「近畿『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」(第1回)の選定結果について

近畿農政局は、「近畿『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」(第1回)として、管内6地区の農山漁村活性化の優良事例を選定しました。

1. 趣旨

内閣官房及び農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第4回選定)として、近畿管内3地区を含む31地区を10月24日に選定しました。

近畿農政局においても、応募のあった事例の中から、近畿独自の特徴ある優れた取組について、「近畿『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」(第1回)として選定し、その情報を広く発信することとします。

2. 選定結果

「近畿『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」選定委員会を開催し、次の6地区を選定しました。

NO.	府県	市町村	地区名
1	滋賀県	長浜市	認定特定非営利活動法人 つどい
2	京都府	京田辺市	山城就労支援事業所「さんさん山城」
3	大阪府	柏原市	カタシモワインフード株式会社
4	兵庫県	小野市	一般社団法人 小野の駅
5	奈良県	桜井市	有限会社 荒神の里・笠そば
6	和歌山県	紀の川市	桃りゃんせ夢工房

「近畿『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」(第1回)選定地区概要 (PDF: 1831KB)

(参考) 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第4回選定)近畿管内選定地区

1	京都府	南丹市	美山ふるさと株式会社 美山町自然文化村
2	京都府	和束町	一般社団法人 えん-TRANCEわづか
3	和歌山県	古座川町	古座川ジビエ振興協議会

なお、本日第3回有識者懇談会が開催され、古座川ジビエ振興協議会については、特別賞「ジビエグルメ賞」として選定されました。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html> (農林水産省へリンク)

近畿「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定証授与式(平成29年12月8日近畿農政局局長室)
〈山城就労支援事業所 さんさん山城〉



京田辺「さんさん山城」に近畿農山漁村の宝

農福連携を評価

1/16 京都新聞

栽培から販売「利用者頑張った」

京田辺市興戸の障害者就労支援事業所「さんさん山城」がこのほど、近畿農政局から第1回「近畿アイスクリーム農山漁村の宝」に選ばれた。農業などで地域を活性化している団体をたたえる制度で、障害者が地元の特産品を生産・加工して販売する「農福連携」などの取り組みが評価された。

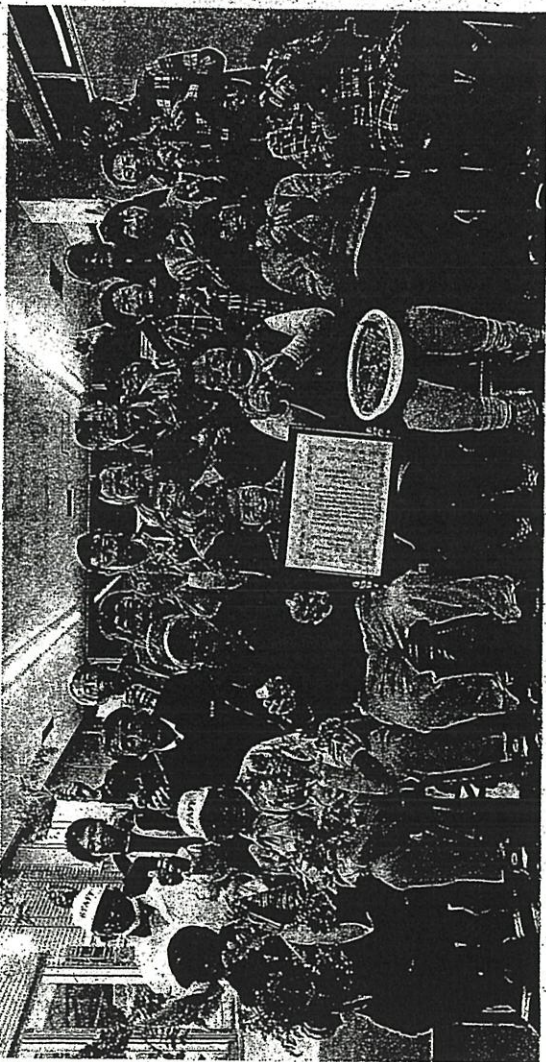
農政局が初めて企画、農林水産省が2014年から選定している「アイスクリーム農山漁村の宝」の候補団体から、近畿独自の優れた取り組みをしている団体を関西6府県で一つずつ選んだ。

さんさん山城は2011年4月、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会が開所。現在、聴覚障害者を中心に知的や精神障害のある10代、8代の利用者30人が登録する。

利用者らは、廃園予定だった市内の茶園や近隣の畑を借りて野菜など約30種を栽培して農協などに出荷。えびいもコロケや抹茶クッキーなどの商品も開発し、地域の模擬店などで出店している。4月には施設内に特産を使ったカフェもオープンした。

管理者の藤永美さん(64)は「利用者が頑張ったからこそ評価された。この地域にあって良かったという施設になってほしい」と話している。

(大竹逸朗)



第1回「近畿アイスクリーム農山漁村の宝」の選定証や手作りの野菜を手に喜ぶ利用者や職員(京田辺市興戸・さんさん山城)